

おがわ

小川村ふるさと通信

No. 220
(2019年冬号)



彼岸花は別名曼珠沙華（マンジュシャゲ）とも呼ばれます。この花が咲く頃、秋への移り変わりを感じます。

(写真 松本博充)

- サークル紹介 - 書道教室 -
- ここに生まれた
- 通学合宿
- 第2回おがわ健康・スポーツフェスティバル
- 分館紹介 - 上野分館 -
- 館長通信



サークル紹介（参加してみました！）

書道教室

（宮尾教室）

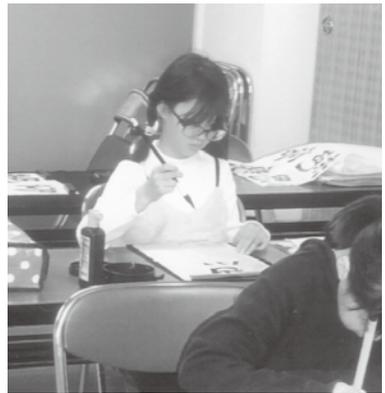


今回は宮尾先生の書道教室にお邪魔させていただきました。小学生の時はあまり好きではなく、どちらかと言うと嫌いな時間でした。今になればもう少し習っておいて、のし袋等サラサラ書けるようにしたかったな、と思います。

さてこの書道教室ですが、始まりは当時公民館長だった西條さんが小川小学校の教員をされていた堀内先生と始められ、その後を宮尾先生が受け継ぎ今に至るそうです。

この教室は現在、子ども四名、大人四名の生徒さんが通われています。学校で習字が始まる三年生から始める子たちが多いそうです。

まず子ども達は書く準備をしたら、先生と書く字を決めお手本を書いてもらいます。この日は半紙に「点字」と「茶室」でした。一枚書いては先生に朱色で添削してもらい、また書き添削してもらい、を繰り返します。先生が子どもたちに繰り返し言っていたことは、



「筆を立てて。」

「筆の先から入って下ろす」

「しっかり止めてからはらう」

「バランスをよく見て」 等

私も何十年前によく言われた言葉でした。何度も繰り返しく子ども達、素人の私が見ても見る見るうちに上達していました。

大人の方は半紙ではなく半切や半切二分の一という大きな（全紙が一番大きい）紙になります。先生から朱色

の添削は入りませんが、ちよつとした字の書き方や全体のバランスのアドバイスがありました。

その日の気分で気持ち良くさらさら書ける時もある、なかなか筆が進まない時もあるそうです。また、この字とこの字を入れ替えたなら完璧と思う時や、書き進めた字が良くなっていく時もある、あればその逆もあるそうです。結局最後は『妥協するしかない』そうです。

先生は始めの頃は添削で○もたくさんくれたのですが、上達も早く更にも上を目指したので最近はおなか○が出ないそうです。しかし、先生と子ども達は「お

じいちゃん和孫」のようにほのほのして、和気あいあいとした楽しい教室でした。しかし、ある瞬間、時計の音と外の音しか聞こえなくなり、皆さんの集中スイッチが一斉に入った時はピンツとした空気が流れました。

今回参加させていただいて、墨をすっている時間は決して嫌いではなかったことを思い出しました。この教室は公民館で月二回、土曜日の午前中に行われています。興味のある方は是非覗いてみて下さい。詳しいことは公民館にお問い合わせ下さい。



こころに
生まれて



平成30年10月20日午前0時過ぎ、私達に男の子が誕生しました。



遥かに広がる雄大な大地のように壮大でおおらかな子に育って欲しいと思います、名前は「遼大（りょうた）」と名付けました。

2月下旬に妊娠がわかり、父親の私は凄く嬉しかった気持ちと身が引き締まるような思いをしていました。その頃の話を妻にしたところ、

遼大誕生

鎌倉 武史
陽子 さん（夏和田）

本人は「お、来たか 笑」と思っていたそうです。ちょっと私とは違います。

子供を授かって実感できたのはエコー写真。初めて見たときはこれが赤ちゃん!!と思いましたが、段々赤ちゃんがお腹の中で育っていく写真を見ると、無事に生まれてくれよう、早く会いたい、どんな子供になるんだろう、願いと妄想でいっぱいになっていました。だいぶ後になりますがお腹の中で動いたと聞くと嬉しかったです。

つわりはどうだった?と聞くと「それほど強くなかった」と言っていますが、通勤中に貧血になり倒れそうになったことがあります、近くにいた女性の方に助けていたことがありました。心配になりましたが子供が産まれると言うことは、沢山の不安を乗り越えていくのと同じに周囲の助けの有難さを感じました。

出産予定日より10日程早い17日の深夜に破水して病院へ行きそのまま入院に。

本格的な陣痛が来たのは19日ぐらいたったと思います
が、同じ部屋にいてとても苦しそうにしている妻にどんな言葉をかければ良いのかわかりません。私は焦っています。ありきたりな言葉ですが「頑張つて」としか言えません。あの時はどんな気持ちだったの?と聞くと「痛くてもいつか終わる」とのこと。やはり私とは違います。強いなあ。

19日の深夜になり私は翌日の早朝から3日間の仕事があり自宅に戻り出産の連絡を待つていました。妻から「男の子が生まれたよ」と電話をもらい、頑張つてくれた妻と子供に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

仕事の休憩中には妻のこととまだ会っていない子供のことしか考えられません。早速仕事の訪問先にて初おもちやを購入、喜んでくれるかなと勝手にワクワクしていました。

生まれてから4日後になってしまいましたでしたがやっと会うことが出来て、赤ちゃんは小さく可愛かった。初めて抱っこした時のあの軽さと、あたたかさは忘れることは

ありません。

あの日から生活はガラリと変わり、昼も夜もない子育ての大変さを痛感しています。いまは小さな成長でしかありませんが、ずり這いや掴まり立ちが出来た時は一緒に喜んでいきます。

子育ては不安なことは沢山あり、そんなときには健診などで保健センターの方と話ができることはとてもありがたくて、いまのままが良いとわかったときはホッとしています。

もう少して1歳を迎え、これから沢山の楽しみや大変なことがあると思いますが、初めて抱っこした気持ちを忘れずにこの方が良く、決めつけるのではなく、こつちでもいかに言う気持ちで3人で「楽しんで」過ごせたらと思います。



通学合宿



9月23日～24日にかけて、小川村公民館で第3回『通学合宿』が開催されました。今回は小学校4年生以上の児童を対象に募集を行い、当日の参加者は男子4名、女子5名の計9名。テレビやゲームのない環境の中、1泊2日の合宿が始まりました。

【日程表】

23日(1日目)	24日(2日目)
13:00 公民館集合	5:30 起床
13:10 はじめの会	5:50 朝食準備
13:30 買い物(マルエ商店)	6:30 朝食・片付け・登校
15:00 夕食準備	
◎福祉教室…炊き出し体験	学年ごとに公民館へ下校片付け・掃除
17:00 お風呂(小川の湯)	16:30 班ごとに反省会
18:00 夕食	17:15 班ごとに発表・終わりの会
19:00 DVD鑑賞	17:30 解散
21:00 就寝準備	
21:30 消灯	

1日目。布団を持たし公民館へ集合したときには、すでにテンションMAX。はじめの会終了後は、マルエ商店さんで夕食の食材を調達しました。夕食作りでは

子5名の計9名。テレビやゲームのない環境の中、1泊2日の合宿が始まりました。



余裕のピース!



目にしみる…泣



どやっ

得て、包装食袋を使った災害時の炊き出し体験を行いました。

その後は小川荘のお風呂に引き、また公民館へ戻って夕食を食べました。メニューは、ハンバーグ・

レシピはないため、始めに大人たちから指示を受け、その後は友達同士で教え合いながら、手際よく進めていきました。しかし今年も玉ねぎのみじん切りには涙…。ご飯は社協の方の協力を



餃子・余った餃子のタネで作ったそぼろ・ポテトサラダ・お味噌汁、と盛りだくさん！どれも美味しく出来ました。たくさん作ったので苦しそうにしてみました。デザー

トのフルーツまでしっかり食べて満足したようです。

夕食後はお待ちかねの映画鑑賞。ミニオンを見ました。9時半に消灯となりましたが、女子たちは遅くまで語り合っていたようです。

2日目。起床は5時半と早い時間でしたが、寝坊することなくしっかりと起きて朝食を済ませ、片付け・掃



除。夜更かしをしていた女子たちはかなり眠そうでしたが、元気に登校していききました。授業が終わると公民館へ下校し、反省会を行い、通学合宿は終了となりました。



通学合宿の中で、一つ感心したことがあります。それは夕食づくりのときに、野菜の切り方に迷いながらも、去年の合宿を思い出しながら取り組んでいたことです。「インプットしたことはアウトプットする」このサイクルを大事にしてほしいと思いました。次回は村内に留まりつつ、場所を変えて開催することな成長を見せてくれるのか、今から楽しみです。

7月30日

『夏の公民館 図書まつり』



図書室だより

小さな木の実

第101号
図書委員会



生地をこねてクッキー作り。
これから型をとるよ！

7月30日に小学生対象のイベント「夏の公民館 図書まつり」が開催されました。昨年と同様に大勢の子ども達も参加してくれました。今回は、地域おこし協力隊の廣田さんに協力していただき、皆で手作りの「クッキー」を作りました。一年生から六年生までの班に分かれ、それぞれ個性あふれる形のクッキーができました。

お昼は、班ごとにカレーを作り、大きなお釜でご飯をたいて、皆でおいしく食べました。あまりのおいしさに皆、おかわり



個性あふれる形のクッキーができました。

日一番の大盛り上がりでした。焼きあがったクッキーは、食べたりおみやげに持ち帰りました。

午後には、同じく協力隊の古谷さん協力のものと「星のお話」を聞きました。地球の大きさや太陽の大きさなど身近な物を使って分かりやすく説明していただき、子ども達も楽しそうでした。最後に、皆で廣田さん手作りのパンを景品にビンゴ大会をしました。今

もしてたくさん食べました。片づけは、班ごとに「ウェス」という古布で油污れを落とすことができました。洗い、楽しく片づけをすることができました。



大きなお釜で炊いたごはんはあっというまにみんなのお腹へ。カレーもおいしかったね。



みんなで協力してお片付け。



景品のパンを選んでいる様子。どれもおいしそう～！

冬のおはなし会& クリスマスパーティー予告



毎年、大好評の冬のおはなし会&クリスマスパーティーを今年も開催します！

クリスマスのおはなしを読んだり、みんなでお料理をして楽しみたいと思っています♪ケーキ、クッキー、パン、プリン…何を作るかはお楽しみに！

親子・兄妹・お友達と一緒にぜひご参加ください。

詳しくは後日、発行するチラシ・ポスターをご覧ください。



▲今年のイベントの様子

ブックスタート ～生後6ヶ月の赤ちゃんへ本のプレゼント～

『子どもに読んで聞かせたい本は？』 平成31年1月生まれの赤ちゃん

本はさいしょのともだち。
いつまでもともだち。



「わかつたぎんシリーズ」
寺村 輝夫



横矢 郁己くん
よこや いくみくん

ブックスタートとは？

小川村では、平成22年度より地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者を対象に絵本をプレゼントする『ブックスタート』を実施しています。

ご出産から2ヶ月後に保健師さんの家庭訪問時にご希望の絵本を2冊選んでいただき、6ヶ月の乳幼児健診時に図書委員の方が手作りの袋にご希望の絵本を2冊入れてお渡ししています。

第2回 おがわ 健康・スポーツフェスティバル

10月14日、びつくらんど小川・小中学校を会場に『第2回おがわ健康・スポーツフェスティバル』が開催されました。昨年からスタートし、早くも2回目の開催となった今回は、アーチェリーやラグビーなどの新種目が加わり、さらにパワーアップした内容となりました。

スポーツウエルネス

吹き矢



囲碁ボール



アーチェリー

小川村初公開



パン食い競争

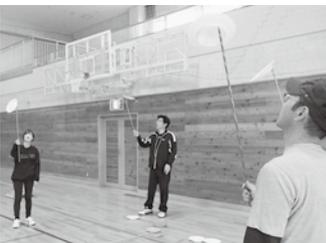


初登場のパン食い競争。パンは地域おこし協力隊・廣田さんの手作りです。これを目当てに子どもがたくさん！いや大人の参加率のほうが高い！



気付けばキッズコーナーの皿回しに夢中になる大人たちの姿も。一方でアーチェリーや吹き矢に果敢に取り組む子どもたち。なんともちぐはぐな光景でした。

大人に人気!? キッズコーナー



▲皿回し

輪投げ▶

ラグビー体験会 & キッズ親子 サッカー教室



▲手加減はしません!!

一方のキッズ親子サッカー教室では、大人VS子ども
の試合が始まっています。手加減なしの大人たちに、子どもたちは真剣な表情でボールを奪いに
いっていました。

ラグビーといえば…盛り上がりましたね、ワールドカップ!!ハマった方も多いのではないのでしょうか。ここでは
タックルを「タグ」(腰に付けたタグをとる)に置き換え、
ルールを単純化させた初心者向けのタグラグビーを伝授
していただきました。



▲ルールを覚えて早速実践、頭を使うスポーツです。



親子対決

VS



クラス別ソフト ボール& バットイング 飛距離コンテスト

中学校のグ
ラウンドでは、
バットイング飛
距離コンテス
トが行われ、5打
席一本勝負で距離を
競いました。小学
生部門の参加が最
も多く、優勝した
のは西沢悠希くん。
親子で参加し競い
合う場面も見受け
られました。

一方、小学校のグラウンドでは、ゴルフ体験が行われました。グラウンド・ゴルフでは遊具やサッカーゴールなどを障害物としてコースに取り入れ、簡単にはカップインできないもどかしさが面白さを倍増させました。



▲障害物を避けつつ最短コースを見極めます。



競泳デモンストレーション



フィンスイミング
日本代表 清水咲希さん

▲握力測定
▼姿勢判定



ロビーで行われた健康・体力チェックコーナーでは、血圧・握力測定、姿勢判定などが行われ、昨年と結果を比較する方もいらっしやいました。

びつくらんどのプールで行われた競泳のデモンストレーションには、多くの観覧者が集まり、速く美しい泳ぎにうっとり。フィンスイミング日本代表・清水咲希さんの泳ぎでは、折り返して壁にフィンを打ちつける大きな水しぶきが上がっていました。



パラスポーツ特設会場

的に、県内77市町村を回っています。2027年には、全国障がい者スポーツ大会が長野県で開催予定です。
フェスティバルの締めくくりに、豪華景品が当たる抽選会では、豆腐や醤油、米、お食事券と、もらって嬉しいものばかり。そして1等は有名アウトドアブランドのバッグ!! 当たった男の子は大事そうに抱えていました。



超豪華!
景品抽選会



パラスポーツ特設会場・抽選会

びつくらんどアリーナの一角では、信州パラスポキアラバンの特設会場が設けられました。パラウエーブNAGANOプロジェクトの一環で、長野県全域にパラスポーツを広げることを目

第2回目目のスポーツフェスティバル、皆さんいかがだったでしょうか。昨年体験できなかった種目に挑戦したり、一つの種目を極めたり、楽しみ方はそれぞれあったかと思いますが、このフェスティバルが健康を考えるきっかけや、仲間づくりの場となってくれればと思います。

皆さんにお書き頂いたアンケートの中には、「親子で楽しめるところが良かった」「自主的に参加する方法で参加しやすい」「アーチェリーや吹き矢が普段できないので新鮮だった」「ほかの人にもこの楽しさを伝えたい」といった声が寄せられました。私個人の意見としても、今回は主に前回体験できなかった種目を回りましたが、あまり興味がなかったゴルフが意外と楽しいことに気付いたり、普段なかなかお話しできない方と話せたり、スポーツの楽しさを実感しつつ心もリフレッシュすることができました。ご尽力いただいたスタッフの皆さん、ありがとうございました。

今回参加できなかった方も、来年はぜひ参加して、楽しさを共有しましょう!!

第2回おがわ健康 スポーツフェスティバル



ご来場いただいた皆さん
ありがとうございました!!



分館 紹介

上野分館

区民の笑顔をのせて



今回は、上野分館の分館活動をご紹介します。

分館長の小林澄男さんにお話を伺いました。

（伊藤）上野分館の集落は広い地域に分散していますね？

（小林）上野区の構成は、戸数の多い上野・大久保地区と、美会・落合地区、高齢者世帯の多い梶尾・柏土地区と、若い世帯が多い鶴牧田団地・鶴牧田・教員住宅の地区があります。

（伊藤）子供も多いと思いますか、分館の活動も工夫されていますか？

（小林）分館としては、育成会の活動を助成をしています。

育成会の行事では、魚の





掴み取り大会を大久保周辺の川で行っています。冬は、育成会スキー大会を白馬五竜スキー場で行っていますが好評です。

分館の主な行事は、マレット・ゲートボール大会、分館ハイキング(隔年)、菊花展、しめ縄作り講習会、人権教育講座健康運動教室です。また、分館報を年2回発行しています。(伊藤) 今年の方館ハイキングは、「信州花フェスタ

2019」だったのでですね！(できたばかりの方館報を見せていただきました)

(小林)

昔は、おにぎりを持って村内を歩きましたが、今はバスで遠方まで出かけています。今年は、66人の参加でマイクロバス3台を連ねて松本市を散策。昼は、大町温泉郷「薬師の湯」での親睦会で交流を深めました。毎回大好評な企画で、地区を越えて区民の皆さんも楽しみにしています。

(伊藤)

分館報は、結婚・赤ちゃん誕生も掲載されていますね！

(小林)

部員全員で、地域の行事やフレッシュで明るい話題をのせて、区民の皆さんに喜んでもらえるようにしています。



上野分館長
小林 澄男さん

時代と共に変わろうとしている公民館

小川村公民館 館長 松本 貴秀

近年の社会環境の変化により、人々のライフスタイルやニーズの多様化により、県下の公民館運営方法が地区ごとに変革が進んでおります。公民館のあり方について社会教育法に定められている社会教育や生涯学習拠点としての運営形態から地方自治法による利用上の制約を緩和するための「指定管理者制度」「コミュニティセンター」の導入検討が急速に進められております。

また、公民館長の任用について地方公務員法及び地方自治法の一部改正により「特別職」から「一般職」へ移行となり任期は、三年から会計年度の一年単位となり任命権者が定めるものとなります。

公民館は、多様な学習機会や集会の場の提供など地域における地域住民、利用者の学習需要に総合的に応える社会教育施設です。さらに、地域社会の形成や地域文化の振興にも大いに貢献するなど地域の日常生活に最も身近な生涯学習施設としての役割を果たしていくのが公民館の責務であります。

利用者から望まれる公民館活動をより活性化し魅力

あるものにするには、地域活動のコーディネーターとしての役割を担う人材・団体等の育成に力を入れるとともに、公民館の役割として、地域課題を集約し数々の講座やイベント等を開催するなど啓発活動を実施しながら、グループ・サークルの持つノウハウ等を共有するなど情報交換の場づくりが重要となっております。

そして、近年の公民館の役割として重要なことは、地震・台風等の自然災害に対する避難生活拠点としていかに機能するかが、これからの重要なカギとなります。公民館を利用する自治会であれサークルであろうが、その地域に生活している者全体のものとして公民館をすべての住民にオープンしておくことが大切であります。

少子高齢化が進行する今、分館とともに、地域活性化の拠点として事業展開を推進すると同時に、行政、教育、社協機関との事業共有・連携をはかりもつと身近で利用しやすい運営、活動を展開する先兵としての役割を果たして参りたいと思います。皆様のご利用をお待ちしております。

※お詫び

館報2119号にて文化協会紹介ページの吟道会様の名称及び、公民館役員紹介ページの成就分館長川又康孝様の氏名を誤って掲載してしまいました。訂正しお詫び申し上げます。